



みなみいず 町議会だより

No. 24号

2006年
平成18.2.1

発行/南伊豆町議会 編集/議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2 TEL0558(62)6240

平成18年1月6日

南国南伊豆を彩る 湯けむりと雪景色



主な内容	議長あいさつ・第8回臨時会、共立湊病院に関する決議... 2 ~ 3
	12月定例会、研修報告..... 3 ~ 4
	一般質問..... 5 ~ 9
	研修報告、一口メモ、議会の動き、くろ潮.....10



年頭のあいさつ

議長 藤田喜代治

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様には、希望に
満ちた輝かしい新年をお迎
えになられたこととお喜び
申し上げます。

昨年は、平成の大合併が
3月末で終り、4月より合
併新法がスタートしました。
議会は、まちづくり特別
委員会を年初頭からスター
トさせました。

春には町長辞職による町
長選挙、夏には県知事選挙、
秋には衆議院解散による総
選挙と町・県・国の今後の
方向を決める重要な選挙の
連続でした。

経済面では、デフレ脱却
の足音が聞こえてきました
が、我が町の各産業は低迷
が続き、特に観光産業の不
振は大きなものでした。
議会は諸問題解決に決意
を新たにし、全力で取り組
んで参ります。

今年は、

- 一、行財政改革の断行
- 二、産業振興のてこ入れ
- 三、町民生活の安心・安全の確保

以上を中心に成果を上げ
て行きたいと思えます。

今年も町民の皆様の変わ
らぬご指導ご鞭撻を賜りま
すようお願い申し上げます。
結びに、皆様のご健勝と
ご多幸を心よりご祈念申し
上げます。

第8回臨時会

(11月29日招集)

人事院勧告にもとづく職
員給与改正条例、11月6日
石廊崎地区集中豪雨による
災害復旧に関する費用の補
正に係る議案及び、共立湊
病院の現在地での存続充実
を求める決議が上程され可
決されました。

第8回 臨時会補正予算の概要

(単位：千円)

会計区分	補正額	補正後 総額
一般会計 補正予算 (第6号)	235,732	4,631,164

共立湊病院の現在地での
存続・充実を求める決議
共立湊病院は、その前
身であった旧国立湊病院
(戦前は海軍病院)当時
から、賀茂郡下唯一の公
的医療機関として、伊豆
半島先端の医療過疎地域
の基幹医療施設としてそ
の役割を果たし、地域住
民に親しまれてきました。

国立病院等再編成計画
のもと、平成9年10月よ
り賀茂郡下七市町村(当
時)が国から移譲を受け、
社団・地域医療振興協会
に運営を委託する管理委
託方式で運営が行われて
いますが、伊豆半島先端
の過疎地域に位置する唯

一の公的医療機関として
の役割は、以前にまして
一層大きく重くなってい
ます。

高齢化率が高い地域の
特性から求められている
循環器系診療科・悪性新
生物(ガン)対応・脳疾
患、子育て世帯を支える
産婦人科・小児科の充実
は圏域住民の悲願であり
ます。

また、第三次救急医療
施設までは、ドクターヘ
リが導入されたとはいえ、
夜間や天候によっては救
急車が頼りで、郡下どの
市町からも天城山系の峠
を越えなければならず、
近いところで一時間から
半島南端の南伊豆町では
最大二時間もかかり、救
急医療の充実は依然大き
な課題となっております。

このような中で、今日、
共立湊病院を現在の下田
南高校に移転しようとし
る動きが出ていることは、
伊豆半島先端の南伊豆町
に生活する住民にとって
極めてゆゆしき事態であ
ります。
伊豆医療圏域に求めら

れている課題は、第一に、
起伏の多い伊豆半島先端
という地理的特性を持つ
地域であるということをも
重視した観点から検討さ
れることが求められます。

ドクターヘリが運行さ
れてはいるが、その欠け
る部分を補うためにも、
半島先端に第三次救急体
制に準ずる体制を確立す
ることが求められ、同様
な半島地域を抱える千葉
県が、地理的特性を考慮
して2.5次救急制度を取り
入れていることは大いに
参考にすべきであります。

共立湊病院の移転は、
一人余を抱える南伊豆
町・地域住民にとってベッ
ド(病床)を備えた病院
施設がなくなるというこ
とであります。

現在、西伊豆地域、東賀
下田市には一定のベッド
数を確保した医療施設が
ありますが、南賀地域で
は、唯一旧国立湊病院・共
立湊病院が半世紀以上に
わたってその役割を果た
してきているのであり、移
転は、新たな医療過疎を作
り出すこととなります。

決議に 対する討論

反対討論

梅本 共立湊病院は下田市、
賀茂郡の各町で構成する組
合病院であり、その使命は
賀茂地区の医療を守ること
にあります。ただ単に地元
にあるとの理由で反対した
場合に、建てかえどころか、
その存立さえも難しくなる
ことが予測されます。賀茂

令、共立湊病院に求め
られていることは、伊豆
医療圏域病院の名実とも
に中核医療施設の役割を
果たすべく、医療の質を
抜本的に高めることであ
り、救急医療の充実につ
いては、ドクターヘリ体
制を補う2.5次救急体制の
充実を図ることでありま
す。

半島先端に生活する、
一人余住民の生活に責
任を負う南伊豆町議会は、
共立湊病院の現在地での
存続、充実と更なる発展
のため奮闘するものであ
る。
以上決議する。

賛成討論

石井 下田南高は六千坪、
現在は一万八千坪、三倍も
ある土地を有している。海
軍病院の当時なぜあそこ
にあったかというのは、環境
の面もあって、あそこへ現
在まで来ていたわけで、利
点はリハビリについては温
泉というものが最大の効果
があり、利用すべきだと思
います。しかも片方には特
養ホーム、片方には老健が
ある。

横嶋 医療の内容の充実と
いうことではなく、移転あ
りきという議論が先行して
いる。病院は新しくなれば、
何かこれが中身も充実する
かというところではない。
地域医療振興協会には病院
組合から総計約4億円にな
るみなし寄附が積み立てら
れています。これに乗せ

平成17年 12月定例会

平成17年12月定例会は、
12月12日から12月13日まで
二日間開かれました。平成
17年度一般会計補正予算案
など十二議案の他、意見書
一件計十三議案を審議し全
議案とも可決同意されまし
た。

条例・規約の制定・改正

第73号南伊豆町公の施設
に係る指定管理者の指定
の手續等に関する条例に
対する修正案

公の施設を指定管理者
に運営委託するための手
続き条例で、9月議会从
ら継続審議され、町長・
議員親族の排除規定等を
盛り込んだ。

第97号南伊豆町生活改善
センター等設置・管理条
例の一部を改正する条例
制定

生活改善センターを指定
管理の対象施設とする改
正

第99号南伊豆町漁港管理
条例の一部を改正する条
例制定

町内の漁港を指定管理の
対象施設とする改正
第100号南伊豆町漁業集落
環境整備施設設置・管理

条例の一部を改正する条
例制定

第101号静岡岡東市町村非常
勤職員公務災害補償組合
を組織する地方公共団体
の数の増減及び同組合規
約の一部を変更する規約
制定

市町村合併に伴う構成自
治体名称の変更
第102号静岡岡東市町村職員
退職手当組合を組織する
地方公共団体の数の増減
及び同組合規約の一部を
変更する規約制定

市町村合併に伴う構成自
治体名称の変更
第103号南伊豆町海岸占用
料等徴収条例の制定

県による小稲・石廊崎・
三坂漁港管理事務の権限
移譲に伴うもの

認定・同意

第96号南伊豆町固定資産
評価審査委員会委員の選任
南伊豆町湊八九四 一八
鈴木 肇さん

意見書

農業試験場南伊豆分場の存続及び試験研究の充実強化に関する意見書
南伊豆地域生産者の技術の拠り所として重要な役割を果たしている南伊豆分場の存続と体制強化を求める

緊急質問

質問者 渡辺嘉郎議員
質問要旨 各地で相次ぐことにも対する誘拐殺人事件に関連し、防犯対策を求めた。町長・教育長が答弁し、事件を重大視、防犯ベル配備やPTA・地域の連携を強化し対策をとると答弁。



補正予算の概要 (単位:千円)

会計区分	補正額	補正後総額
一般会計補正予算(第7号)	23,556	4,654,720
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1,268	1,307,288
老人保健特別会計補正予算(第2号)	163,076	1,528,575
妻良漁業集落環境整備事業特別会計(第1号)	300	92,442

議会運営委員会 研修視察

- 議会運営委員会は11月10日、議会運営について東伊豆町議会と下田市議会を訪問しました。目的は、
1. 議会運営委員会開催と議会開催日程の設定について
 2. 議案の配布・一般質問通告方式
 3. 議案・予算の審議形態
 4. 常任委員会の運営

閉会中の継続審査の運営方法

南伊豆町議会運営において参考にすべき点として

1. 質問通告締切日を議会開催の近い日程に見直しを行う
 2. 施政方針については、一般質問ができるように事前配布を行う
 3. 常任委員会の充実として
予決算審査の充実
委員長報告
(町長答弁添付)の充実
決算審査資料の充実
決算審査前の主要事業現地視察
- などです。南伊豆町議会の一般質問での一問一答形式や、常任委員会において委員外議員が発言できる形式などは参考になるとの意見も出されました。
- 東伊豆町議会では、議運委員とまちづくりについても忌憚のない意見交換ができ、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。
- これから18年度の予算議会に向かいますが、早速学んだことを参考にして議会運営に生かしていきたいと考えています。

行政視察報告



11月21日、22日
視察地 JA茨城ポケットファームどきどき
茨城県の「ポケットファームどきどき」は、農産物直売所としてJAいばらきが農業への理解と信頼、安心できる農産物の販売と多角的な事業の展開を目指す目的で、平成11年にオープンしました。生産の場作りとして花・青果物等の委託販売、農業の振興や担い手づくり・加工の場・交流の場などの事業が行われていま



JAいばらきポケットファームどきどきにて

一般質問

町長に聞きました



梅本和熙 議員

ジャングルパーク問題

梅本 選挙後、ジャングルパークと交渉をされたか。
助役 7月29日、岩崎産業が来庁し、土地の売買抜きでは、トイレの開放はあり得ないとの話があった。
梅本 この問題は我々なら解決できるとの発言は。
町長 駐車場、トイレだけの問題では解決できない、難しい問題を含んでいる。

共立湊病院の問題

梅本 改修は、他市町村の首長がお金をどぶに捨てるようなものだと発言は。
町長 そういう意味合いの意見が出た。改修し、耐震補強できればと考えたが、既にその段階ではない。
梅本 地区懇談会で改修という発言はすべきでない。検討委員会で移転案が了承されて、首長会、組合議会で議決されても、移転に反対していくか。



町長 それぞれの市町の議会、そして病院議会等で、いずれも決定となれば、これはもう従うしかない。
梅本 移転する場合は、跡地に分院をつくるのと条件は当然ある。移転に承諾して共立湊病院の存続を図ることが賀茂圏域の医療体制を確立することに役立つ。強硬に反対すると病院の存続自体が危うくなり、病院の使用継続が不能な状態になることが予測される。

自立単独と市町村合併

梅本 町長選挙後の静岡新聞で、町長は「この先、何年単独でいけるかわからない。」と発言しているが非常に無責任な発言だ。
町長 合併の問題は、財政や人口減少を考えると、避けて通れない。
梅本 選挙期間中に町長は「希望の持てる南伊豆町をつくる。」と、色々と町民に提案した。先の発言と考え合わせると、町民に到底実現不可能な提案をした。
町長 私が申した提案は必ず実施するとか、しないとこういう問題ではない。
梅本 三つのシミュレーションの、どれが当町の将来の財政を示しているか。
町長 シミュレーションは交付税、普通建設事業が相当大きいウエートを占めるのでそれぞれ見方が違う。
梅本 シミュレーションのデータは違うのが当たり前。
町長 町当局が独自で行っているシミュレーションが新しい数字というか、状況

もわかってる。平成21年を境に赤字になる。
梅本 議会の財政シミュレーションで町長等の報酬を平成17年度より、二十%削減とある。単独のまちづくりという考え方で提案されている。二十%の削減は町民に決意を披瀝するために行うしなければ。
町長 私が二十%で賛成しても、私の考えだけでは。
梅本 賀茂地域支援局、合併推進審議会が合併に関する意向調査にきたか。
町長 合併問題は住民投票で、単独という結果が出ている。しかし、今、新法のもとで国・県において合併問題が取りざたされ、審議会が立ち上がり検討されている。対象市町の一町として結果を見て考えたい。
梅本 合併新法の期限内に合併する意思があるのか。
町長 合併についての取り組む姿勢があるのかとの質問には対象町として、当然それは考えざるを得ない。



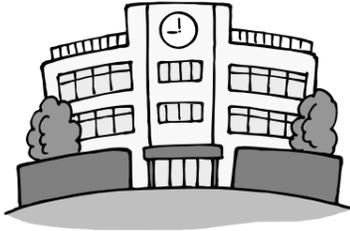
谷川次重 議員

市町村合併への取り組み

谷川 自立単独の道を進めている村長さんの「これ以上地方交付税が絞られてくると、単独の道は終わりだ」の記事を、どう思うか。

町長 地方交付税が町にとつては非常に大きなウエートを占めている。この見通しを的確に把握しながら、合併問題は考えていかねばならない。

谷川 3月には町長の合併に対する姿勢が明確に打ち出されるか。
町長 そういつ考えかたでよろしい。



十八年度予算編成方針

谷川 町長はどのようなまちづくりを考えているか。
町長 安心して住めるまちづくりを進めていく。

谷川 具体的にはどう進めていくのか。
町長 共立湊病院、小中学校の再編、合併、南伊豆分場の移転問題等、もろもろの課題に、一つ一つ取り組んでいく。

谷川 一、町税の確保、湯沢方式への取り組み方。二、重点施策の進め方。三、メリハリのついた予算とは。四、経常経費をどこまで削減し、どのような合理化を進めるのか。五、どのような職員教育をしていくのか。



町長 一、町税の確保は最重要課題と位置づけ、現在職員九十人体制の町税特別滞納整理班を編成し、夜間徴収も指示している。悪質滞納等の場合は差し押さえ等も視野に入れ、町税の確保に努める。二、各課からの予算要求の中から、私の考えをいれ、総合的に判断していく。三、最優先事業の選択、優先順位の設定には細心の注意を払っていく。



四、原則的に17年度当初予算額の九割以内で予算要求するよう示達した。
谷川 湯沢方式への取り組みは。

窓口税務課長 湯沢町へ視察に行ってきた。かなり大きな成果を上げている。一市五町の首長が集まり、鋭意検討中。
町長 近隣市町村と連携をとりながら考えていく。

谷川 予算のないときは、選択と集中で、町長としてこれをやっていくと明確に打ち出したほうが効果的ではないか。
町長 確かにそういう思いはしている。

谷川 当分は単独というなら徹底したコスト削減しかない。東京の千代田区長は能力主義のボーナス制度をはじめた。それくらい踏み込んだ行政を進めるべき。



町長 全くなるとあり。今後の人事管理、給与の適正化を考えていく。



清水清一 議員

町民参加のまちづくり

清水 地区町政懇談会での多かった質問とその内容は。町長 新法による市町村合併・小中学校の再編成・共立湊病院の建設問題について、現状報告、その後意見交換をしています。町民の貴重なご意見を真摯に受けとめ、今後の行政に反映させていかなければ。

清水 下田市長は新聞によると、共立湊病院は住民の合併するメリットとして南高へ持ってきた。私は合併と共立湊病院の移設問題は別の話だと思いが町長はどう考えているのか。
町長 一緒に考えると町民が、市民が戸惑うことにならないのではないかと。私は病院



の管理者という立場で、合併とは別に考えていきたい。清水 町民の医療問題を考えたときに、南伊豆町の東側しか医療機関がない。南中・竹麻地区だけで、他は無医村で南崎・三坂・三浜・南上地区の住民のことを考えていただきたい。

職員間の職務活性化



清水 活気のある職員への意欲を持つてできるような取り組みは。

町長 職員の意識改革施策検討部会で検討をしています。能力を客観的に評価し、人事管理に反映させるシステムを構築する必要があると思う。

清水 職員提案制度とか能力向上策でこれまで実績は。企画調整課長 職員提案制度で、ここの二年職員からの提案はございません。総務課長 意識改革の部会で検討しており、今後検討してまいります。

地域間交流について

清水 職員一人一人が町民にどのような行政サービスができるのか、職員間で話をしたことがあるのか。
町長 そのことだけを議題として話し合ったことはない。職員の意識改革や資質・能力向上、きめ細やかな住民サービスの向上に努め、協働参加社会の実現に向けて邁進したい。

生活環境の整備



く方針に至った時、東海通信局においてきた段階でまた連絡等をしてみたい。

清水 情報、地域間交流の促進、情報の共有化の何か方策等は。
町長 広報紙や、公募で委員を決めたり、ワークショップ等、町民との情報交換の機会をふやしたい。町政懇談会もその一つである。ロードバンド環境の整備状況は、補助事業などを調査検討していく。
清水 町内はNTTが光ファイバーが引いてありますが交換局には接続してない、NTTにお願いは。企画調整課長 IT戦略本部というのが国にあります。ロードバンドを進めてい

清水 山間地域の農地、山林等、大分荒れております。土地の所有者として管理責任がある。税金の納付書の中に「草刈ってください」、管理してくださいの文書を入れたらどうか。
窓口税務課長 いわゆる秘密漏えいに抵触するおそれもあり、納税通知書の中にそういった文書を入れることはできないと解釈する。
清水 全部に入れるのであれば個人情報ではない。方策はないのか考えていただきます。問題は町外の所有者の方々の土地が放棄に近く管理していない。



保坂好明 議員

医療課題について

保坂 12月8日の朝日新聞に下田市長が病院移転問題に関し、県が示す合併に向け機運の盛り上がりにつながるなどの姿勢を示し、病院を下田南高跡地に無償で優先移転させることや、建設費の支援を県に求めていけ



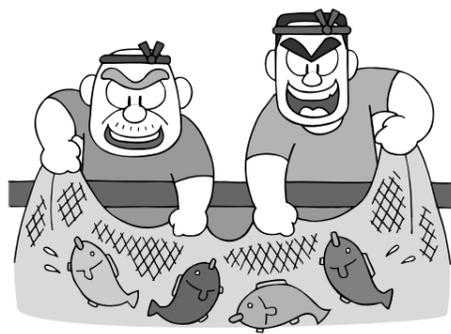
ば住民も合併するメリットとして受けとめやすいとのコメントを出したが、地域住民の生命と財産を守ることに使命であるべき者が、合併論と命にかかわる病院問題を絡めて考えることは、その認識を疑う。同じ立場の町長は如何に思われるか。町長 病院問題が合併問題と絡めて考えられると町民が戸惑う。管理者としても病院問題だけで検討する。保坂 現地と南高跡地を比較した場合、建設コストのほかに現地においては水と温泉源があり、海岸からのマイナスイオンと波の癒しもある。あわせて東海地震が叫ばれる中で災害拠点病院



となることから、地震の液状化や津波がどうなるのか等の環境の状況。救急搬送を含めた交通のアクセス。介護福祉を含めた伊豆圏域への貢献度。病棟・駐車場・宿舎等を含んだ面積の確保。そして下田市内には診療所やクリニックがあり、経営への影響が出ると思う。総合的な状況を含め、将来の広域医療を担う場所としての検討や議論がされたのか。町長 病床数を増やす希望的なこと以外、議論はされていない。もつと総合的な判断をしなければならぬ。保坂 現行の病床数から五十床増やす計画は保健医療計画に基づき増やせるのか？

巻き網漁船の操業について

保坂 漁民を取り巻く環境は大変厳しいが、水産資源の枯渇を防ぐ為に稚魚放流や小型魚の捕獲禁止等、水産資源管理型漁業を推進している。巻き網の違反操業は許可対象以外の魚の大小を問わず一網打尽にするた



め、地域の水産資源管理の崩壊を招くものと認識する。地域の取り組みと操業実態からどの様に思われるか。町長 県外でも同様の問題を抱えており、県内外船主会や市町村等と連絡をとり、取り締まりや罰則の強化、水中灯の廃止等、漁協と連携をとりながら国や県へ要望をしていく所存です。保坂 違反操業の罰則は再犯加重が無いことから違反操業を繰り返す実態が考えられる。罰則規定にはない許可の取り上げをも視野に入れた漁業法の見直しを訴えていただきたい。



横嶋隆二 議員

介護保険

横嶋 制度改正の特徴と町の対応は。町長 軽度者を対象とする新予防給付の創設及び必要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者を対象とし、介護予防のため効果的な支援を社会福祉、保健師、主任ケアマネジャーを配置した地域包括支援センターを設置して、サービスの提供や総合相談等の支援をする地域支援事業の創設。介護保険3施設の居住費、食費を保険対象とする施設給付の見直しや、地域に密着したサービスを提供するなどの内容。横嶋 制度改正や税制改正で利用料支払不能世帯が予



測されるが、どう対応する。健康福祉課長 施設入所での居住費・食費が保険対象外になったが、低所得者には費用と負担限度額との差を補足給付で対応する。横嶋 地域包括支援センターはどこに設置するのか健康福祉課長 健康福祉課内に設置予定だ。

平成十八年度予算と取り組み

横嶋 国が進める三位一体政策の下で、自律のまちづくりを進めるうえで、も行政改革の視点が重要だが、町長の視点・考えは。町長 危機意識の醸成による職員の意識付けを促進し、資質を高める。事務事業評価等により時代の要請にこたえる事業の重点化を図り、新たな公共サービスを設計する。また、町民と情報を共有することによって協働社会を構築することが行政改革の本質と認識する。横嶋 財政見直しは県のシミュレーションと違うところがあるのか



横嶋 共立湊病院の医療課題をどう考えているか。移転の論議があるが、一万人の人口が住む新たな医療過疎地域が生まれる。病院を新しくすると医療の質も良くなるという錯覚があるが、新しくならなければ質が良くなるのではないのか。現在、賀茂から田方に二十七パー



セントの患者が流出しており、現状の病院の中身・医療の質の議論が求められているのではないかと。町長 伊豆医療圏で二次救急輪番体制の確保、脳や循環器疾患救急受け入れ体制の構築が求められており、公的病院として診療料の確保・医療従事者の確保など医療水準の向上が求められる。僻地医療の位置付けもあり地域バランスからいっても管理者の立場からも現在の存続を訴えている。医療スタッフを信頼しているが、皆から信頼を得る病院にしてほしいという思いで申し入れもしている。

議会の動き

南伊豆町議会の動き・平成17年11月～平成18年1月

- 11月4日 第1常任委員会
- 11月7日 共立湊病院組合議会全員協議会
- 11月9日 議会広報研修会
- 11月10日 議会運営委員会研修
- 11月13日 子ども議会
- 11月14日 まちづくり特別委員会
- 11月14日 伊豆つくし学園組合議会議員研修
- 11月15日～16日 例月出納監査
- 11月21日～22日 南伊豆町議会議員県外視察研修
- 11月24日 定期監査
- 11月24日 全国議長大会
- 11月25日 定期監査
- 11月25日 静岡県地方議会議長連絡協議会
- 11月28日 全国過疎地域自立促進連盟
定期総会
- 11月29日 南伊豆町議会第8回臨時議会
- 12月2日 第6回静岡県市町村対抗駅伝
競走大会壮行会
- 12月3日 第6回静岡県市町村対抗駅伝
競走大会
- 12月5日 議会運営委員会
- 12月5日 第1常任委員会
- 12月5日 まちづくり特別委員会
- 12月9日 まちづくり特別委員会
- 12月13日 議会広報編集委員会
- 12月19日～20日 例月出納監査
- 12月26日 足湯「湯の花」竣工式
- 12月26日 下田市・賀茂郡4町議会議長に農業
試験場南伊豆分場の件で依頼
- 12月28日 まちづくり特別委員会
- 1月4日 消防団出初め式
- 1月6日 議会広報編集委員会
- 1月18日 南豆衛生プラント組合
議会全員協議会
- 1月19日～20日 例月出納監査
- 1月20日 議会広報編集委員会
- 1月23日 静岡県ホテル旅館生活衛生協同組合総会
- 1月25日 議会広報編集委員会
- 1月30日 伊豆斎場組合議会定例会

皆さまの声を お待ちしております

皆さまから届けられました貴重な意見・提案等は、「いでゆ」のコーナーに記載させていただきます。

南伊豆町議会事務局内 広報編集委員会

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2
TEL・FAX 626240

議会一口メモ

地方交付税

地方交付税は、一般財源が不足する地方自治体に配分される間接課税形態の地方税です。地域間の財源のあり方、特に地方税の税源が均等ではなく著しい地域差がある状況を前提に、全国どこも府県市町村でもほぼ同一水準の一般財源を保障するものでこれを地方財政調整制度といいます。地方交付税の機能としては、消防や高齢者福祉など個々の行政ごとの標準的な財政需要の水準を示し、個別行政の財源保障という機能をも合わせて

普通交付税 交付・不交付別団体数

(1) 団体数

区分	都道府県	市町村	市町村の割合
交付	46	2,257	94.2%
不交付	1	138	5.8%
計	47	2,395	

います。これは「基準財政需要額」として示されます。普通地方交付税の配分は、「基準財政需要額マイナスイナス」基準財政収入額」という算式で求められます。平成十三年以降基準財政需要額算定指数が切下げられたため、すべての自治体で標準財政規模が縮小しています。



正月明けの寒波は、当地に数十年ぶりの大雪をもたらした。『静夜詩』の承節の感がする一面の銀幕シーンであった。

新春を迎え、中長期の課題であるべき財政再建のこと、地域医療、学校再編、自治体合併の諸問題等々、町議会にとって本年の最重要・最優先度の高い命題であるが、一つ一つ地域住民に正しい情報を公開・共有しつつ、最適な対応をはからなければと痛感される今朝であった。

醜美を覆い尽くす雪は、人の眼に真っ白な無垢のイメージを植え尽くす。せめて南伊豆町だけでも魔法の雪の行政手法で覆ってくれないか！
新年の初夢と雪をダブらせて編集後記の一言：(三)